

2021年度 帰国隊員/青年支援プロジェクト 実施報告書
(協力活動/調査・研究)

提出日:2022年12月20日

氏名:綿貫大地

プロジェクト名称:野菜農家のBIO認証(有機栽培認証)取得プロジェクト

実施国:ベナン共和国

実施期間:2021年11月01日～2022年10月31日

1 活動実施内容概要

野菜農家のBIO認証(有機栽培認証)取得プロジェクトということで、ベナン共和国の野菜農家に対して、BIO認証取得までのプロセスの説明や指導や、BIO認証の原則&取得の条件についての研修ワークショップを実施し、認証取得までをフォロー&サポートしていくプロジェクトです。

すでに有機農業を実施している農家が一定数いるにもかかわらず、彼らは資金や知識不足が原因で公式な認証を取得できていませんでした。私自身は、2017年にJICA海外協力隊員としてベナンに赴任し、農林水産省の地方支所に配属になり、野菜農家グループと収入向上プロジェクトを実施し、さらに持続的サポートを目指し、協力隊活動後もベナンで会社を設立しました。

これらの経験を通して、都市部の消費者はBIO野菜を求めていること、そしてBIO認証を取得する術を知らない(もしくは取得できない)農家がいることを知り、彼らのために認証取得をサポートしようと思ったのがこのプロジェクトの背景です。

2 活動の結果・成果

(具体的に何がどう変わったか、何がどういった状態に変化したかを記述)

予定通り、選出した50人のPSG(Participatory Guarantee Systems)認証の会員登録が完了できました。BIO認証の発行は一部まだ完了しませんが、BIO認証が発行された農家は、今までは有機農業を行っているという客観的な証明ができなかったのが、公式的に有機農家&有機野菜であると提示&発信できるようになりました。

3 (申請時に)期待された効果と実際の相違点

(異なる場合はその原因と対処内容、及びその対応による結果)

今回のプロジェクトではシンプルにBIO認証取得費用を立て替えるということではなく、周知から取得まで一貫したサポートを行いました。具体的な活動は、

①農家の選出: 選出基準は、有機農業の経験(堆肥の作り方など)や灌漑の知識があるか、年間を通して農業を行っているか等の選考基準に加え、新技術を採用することやAgri-Missionと今後も取引することを合意した農家とした。

②選定農地の訪問・指導を行い、対象野菜の栽培を開始

③BIO認証の原則、取得の条件についての研修ワークショップを実施

④BIO認証を取得

このような一連のサポートを行うことで、農家さんのBIO認証に対する自律性を高めることができたと考えている。いい意味で期待を上回ったポイントだった。

BIO認証発行のためには、SPG会員登録とBIO認証発行というプロセスがあります。SPG会員登録は50人分無事に完了しました。ここで、PADMAR(Projet d'appui au développement du maraîchage)から、BIO認証発行に関しての費用と、さらに追加50人分のSPG会員登録費用&BIO認証発行費用を負担してくれる、という申し出がありました。

PADMARは、国連の専門機関の一つである国際農業開発基金が主導するベナン野菜農家開発プロジェクトであり、ベナンの野菜農家をビジネスからサポートしようとしているAgri-Missionに対してとても友好的で、さまざまな助言や今回のようなサポートをしてくれている組織です。より多くの農家さんにBIO認証が発行されるということで、Agri-Missionはこれを受け入れました。

しかし、PADMARからBIO認証を発行する団体への支払いが遅れたため(10月に支払い完了済み)、BIO認証発行が遅れている状況です。認証発行をより早く進めたい

Agri-Missionが認証発行団体になんとか交渉して、2022年10月下旬に一人の農家さんについてはBIO認証が発行されました。残りの農家さんに関してもまもなく発行が完了する予定です。

4 活動成果の持続発展性

BIO認証を取得し、有機農業に対する知識を再構築しても、それを活用しなければ意味がありません。今回BIO認証を取得した農家さんは、Agri-Missionの取引先であった方もいます。彼らには、これからも私たちAgri-Missionの有機栽培の農業指導を継続的に行い、取引先としてサポートしていきます。

さらに理想としては、農家さん自身がBIO認証をうまく活用し、他の売り先を見つけて、有機野菜としての取引が増えることが望ましいと考えています。

5 苦労した点、反省点、本活動を通じて得られたこと、学んだこと、教訓等

FUPRO-BeninSPG会員登録&BIO認証発行をする団体)の動きが想定したよりも鈍く、最初のステップで予定よりも時間がかかってしまいました。

そこで、本来FUPRO-BeninFédération des Unions de Producteurs du Bénin(ベナン生産者組合連盟)と協働して実施する予定だった活動も、私たちができることからまず進めようということになり、2022年3月実施のワークショップまでAgri-Mission主導で動きました。

プロジェクト自体に遅延があったものの、予定通りにBIO認証発行まで完了できた農家がいるので、大きな問題はありませんでしたが、この遅延と、そしてそれを私が協力隊を育てる会様にお伝えするのが遅くなったため、石濱様をはじめ多くの方々にご迷惑をかける結果となってしまいました。この点は反省すべきことでありました。

6 ご自身の今後のプラン、及び本活動の活用予定・計画

全ての農家さんと取引が開始できるように、会社の規模を大きくして、それだけ多くの野菜を販売できるようにお客様を獲得して、そうできるような体制作りを早急に構築します。2023年には全農家さんと取引を開始したいと思っています。